

「主体的、対話的で深い学び」を図る 永嶺高校の学習スタイル

本校では「教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた授業・学習法」の総称であるアクティブ・ラーニングを全教科で取り入れています。

授業を聞いて学ぶだけではなく、自らの考えを書いてまとめたり、他者と意見交換をしたり、全体に説明したりする活動を通して、変化の激しい社会でも活躍できる思考、判断、表現、コミュニケーション、情報リテラシーなどの汎用的能力の育成を図ります。

次期学習指導要領の改訂の方向性を踏まえ、育成すべき資質・能力を教育課程全体の中で育むために、教科等の本質的な学びを踏まえたアクティブ・ラーニングの視点から、より効果的な学習・指導方法の開発に積極的に取り組んでいます。



「模擬裁判」をテーマにしたアクティブ・ラーニング



「探求」をテーマにしたアクティブ・ラーニング



国際交流・国際理解・国際貢献

急速に変化する社会や、グローバルな時代に適用できる資質を早期から身につけておくことは今や必須です。本校では、外部の関係機関と連携し、様々な形態で国際交流や国際理解、さらには国際貢献を体験する機会を設けています。

